

# 「公共施設の再編にかかる市民意見交換会」における意見・要望について

## ○参加人数等

開催日	会場	参加人数	開催日	会場	参加人数
10/8	塩谷サービスセンター	17名	10/21	手宮公園住宅会館	7名
10/10	銭函市民センター	18名	10/23	小樽市役所（昼の部）	44名
10/15	オタモイ会館	9名		小樽市役所（夜の部）	17名
10/17	新光南会館	16名	10/25	奥沢ホール	13名

市内7か所（延べ8回） 延べ141名参加

## ○主な意見・要望

### 1 小樽商業高校の活用について

- ・現在の商業高校の駐車場は狭いが、駐車スペースは足りるのか。
- ・海技短大や高等看護学院など、カリキュラムの違う学校や一般市民が使う施設が共用で建物を使用することになるが、支障が出ないのか。
- ・学校に市民活動施設が同じ建物に入ることにより、発生する音や振動のことが心配だ。
- ・教育委員会の中に登校支援室があるが、不登校児童が商業高校の場所に行けるのかが心配だ。
- ・オール小樽で海技学校を残したのは良いと思うが、大きすぎる商業高校を買うことにした理由が理解できない。
- ・商業高校は耐震基準を満たしているが、10～20年すると修繕が必要となると思う。長い目で見ると、老朽化した勤労女性センターや勤労青少年ホームは、現在ある場所などに建て替えた方が費用はかからないのではないか。
- ・商業高校は、国（海技教育機構）が道（道教委）から直接借りればよいのではないか。
- ・商業高校を使用するなら、廃校後の学校跡などを積極的に利用してもよいのではないか。

### 2 生涯学習プラザ（レピオ）など「学習・交流機能」について

- ・高齢の利用者は、商業高校まで行くためには、坂がきつく厳しいと思う。
- ・高齢者はバスに乗ること自体が大変なため、バス1路線で行ける場所がよいと思う。
- ・施設を利用した後、近くで食事や買物等もできる便利な場所がよいと思う。
- ・使い慣れたレピオ、勤労青少年ホーム、勤労女性センターは現在の場所でよいと思う。
- ・レピオ等を移転するのであれば、便利な市の中心部がよいと思う。例えば、駐車場の問題があるが産業会館など。
- ・市民活動の場、特に多くの高齢者の生きがいの場を縮小しないでいただきたい。
- ・若者の利用も増やすことを考えていただきたい。縮減ありきの今の考え方は人口減に拍車をかけるのではないか。

### 3 市民プールについて

- ・市民プール建設は、市長が公約に掲げているため、造らないという素案があることはおかしいのではないか。
- ・道内人口10万人以上の市で、プールがないのは小樽だけだと思う。
- ・駅前プールが廃止になったときに、市が受領した移転補償費等が約6億円あり、その中には建設費の寄附も含まれるので、必ずプールを造っていただきたい。
- ・市民の健康増進を図るなど、基本的な考え方や方向性も盛り込むべきではないか。
- ・民間プールを活用する案があるが、民間施設はシャワー等設備の使用に制約が多く、学校の水泳授業などもあるため、プールは市で造るべきだと思う。
- ・高島小学校のプールは利便性が悪く、小学校のプールであるため、制約も多い。
- ・市民プールだけ、特別に建設要望があるのはなぜか。プール建設を否定しているわけではなく、単なる疑問だが、このような意見もあることも分かっていたらいいと思う。

#### 4 市民会館について

- ・現在の規模より縮小してもよいので、市民会館を建設していただきたい。
- ・マリンホールは利用者が多く、希望する日に予約することが難しくなっているため、もうひとつ市民ホールが必要だと思う。
- ・ホール機能を体育館のアリーナで代替という案があるが、体育館の利用率が高いことや生演奏による音響効果の観点から機能代替は無理ではないか。
- ・トップレベルの芸術を呼ぶには、1,000席規模のホールが必要なのではないか。また、文化芸術に取り組む市民活動の場としても必要なのではないか。
- ・人口が多かった時代に建設した1,200席規模のホールは必要ないと思う。
- ・今の小樽は、マリンホールで充分だと思う。
- ・身の丈にあった公共施設の在り方も問われているのではないか。

#### 5 体育館について

- ・市民がよく使う施設なので、利便性が高い市の中心部(駅近辺)にあった方がよいと思う。
- ・体育館は建替えて、プールや勤労女性センターなどとの複合施設にしていきたい。
- ・体育館は、単にハード面で捉えず、将来の高齢者の健康増進機能といったソフト面からの必要性を検討いただきたい。

#### 6 市役所庁舎について

- ・財政難であることから、市役所を建替えるのではなく、修繕して使うべきではないか。

#### 7 その他の施設について

- ・放課後児童クラブととみおか児童館をレピオ跡に移転させることはよいと思うが、それだけでは施設を有効活用することにはならないのではないか。
- ・塩谷児童センターと塩谷サービスセンターの統合については、児童センターの場所ではなく、塩谷小学校で統合していただきたい。その方が児童にとって良いと思う。
- ・銭函市民センターと銭函サービスセンターの統合について、利用率だけで統合し縮小するのではなく、銭函を発展させるような発想の施設を検討していただきたい。例えば、図書館を併設するなど。
- ・身体障害者福祉センターは、便利な市中心部に造っていただきたい。その際には、今より事務室を広くしていただきたい。

#### 8 その他

- ・再編素案の考え方については、基本的に賛成だ。
- ・意見交換会当日に再編素案を配布されても意見を言うことは難しい。事前に素案の内容を周知すべきではないか。
- ・それぞれの会場で出された意見については、何らかの方法で公表する仕組みを作っていただきたい。
- ・意見交換会は、今回だけで終わらせることなく、再度開催していただきたい。
- ・12月に、一つの再編計画(案)に絞るには時間が少なく、拙速ではないか。
- ・再編計画は小樽のまちづくりなので、将来の発展につながる内容としたほうがよいのではないか。
- ・計画策定は、施設利用者の代表者や有識者等の第三者の委員会で協議した方がよいのではないか。
- ・施設再編と同時に、廃止される避難所の代替も検討していただきたい。
- ・PPP/PFIを募り、積極的に民間活力を使った攻めの発想で、地域の活性化を図ってみてもよいのではないか。